

# 心に残る文化財子供塾 松江市立揖屋小学校

## 1. 活動の概要

6月8日(水)、松江市立揖屋小学校で『心に残る文化財子供塾』を開催しました。6年生2クラスでバスに乗車して移動し、東出雲町や松江市域に残る古墳時代の遺跡や出土遺物の見学を行いました。

まず、小学校の近くにある東出雲中央公園に集まり、東出雲町の遺跡について学習しました。小学校のまわりにはどれくらいの数、どのような遺跡があるのか、古代文化センターの職員から説明を受けつつ、実際に島田池遺跡から出土した須恵器の実物に触れました。また、移築された寺床古墳の遺構も見学し、地元の古墳について深く学習しました。

次に、山代町の山代二子塚古墳の見学を行いました。現地に残された古墳の形や大きさを実感しつつ、土層見学室やガイダンス山代の郷を見学し、古代文化センター職員の説明を受けながら学びを深めました。

最後に、八雲立つ風土記の丘の展示学習館に移動し、展示見学を行いました。最初に風土記の丘の職員から意宇平野の歴史について解説を受け、松江市域の遺跡から見つかった埴輪や大刀などの出土遺物を間近で見学しました。また、復元された竪穴式住居や掘立柱住居も見学し、古代の人々の暮らしにも思いをめぐらせました。

## 2. 活動の様子



東出雲町や松江市の遺跡について学ぶ



島田池遺跡の遺物に触れる



寺床古墳の遺構を見学



山代二子塚古墳の説明を受ける



ガイダンス山代の郷でより深く学ぶ



土層見学施設で調査成果に触れる



風土記の丘の展示室で意宇平野を眺める



竪穴式住居を体感

### 3. 子ども塾を終えて

#### 1) 児童の皆さんから…

- ・(心に残ったことは)古墳の大きさです。私は本や教科書などで見た時よりも大きくてすごくびっくりしました。
- ・昔の人はすごく時間と手間をかけたんだなと思った。
- ・古墳に雨がたまったら、流れるように通り道をつくっていて頭いいなと思いました。  
土器も昔のおもみを感じました。
- ・いろいろな形の古墳を見てみたいです。

#### 2) 担任の先生から…

- ていねいで分かりやすい説明であった。須恵器などに直接ふれることができた。
- 地域の文化財(寺床遺跡)に触れられるのがとても大切だと感じた。
- 地域に誇りを持つことができる。専門的な話は自分たちにはできないので、どんどんマニアックに話してもらいたい。

#### 3) 古代文化センターから

現在の松江市域やその周辺には、古墳時代の出雲地域を代表する遺跡が数多く発見されています。この地域には、今回訪れた山代二子塚古墳以外にも、たくさんの重要な古墳が残されているので、是非見学してみてください。また、今回訪れた展示施設も、もう一度訪れてみると新たな発見があるかもしれません。

普段何気なく生活している地域にも、古くから人々の営みがあったことが実感できたかと思います。今回学習した古墳時代は勿論のこと、それ以前や以後の歴史にも目を向けてみると、私たちの今の暮らしが、長い年月をかけた歴史の積み重ねの上にあることをより深く理解することができるでしょう。是非、身近で素朴な関心を大切にしながら、学習を続けてください。